

## 排水施設改良工(リフトス工法) 作業手順

	内 容	留 意 事 項
準備工	作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認
既設蓋撤去・清掃	取替予定箇所の側溝蓋を撤去する。 側溝受枠面を清掃・鉄腐食部のケレンをする。 浮石や脆弱部があれば除去する。	撤去の際は、指などを挟まないように注意する。 ピック・サンダー等を使用するハツリ作業を行う際は必ず飛散防止ネットを設置する。 作業に合った保護具を使用する。
受枠設置・グラウト漏れ止め処置	既設側溝に受枠を設置する。 バックアップセメントを使用し既設側溝と受枠の隙間を埋める	既設側溝との段差を無くす為、調整ボルトにて高さ調整する。 隙間が大きい場合、型枠等を設置する。
グラウト材充填	打設箇所の清掃をする。 グラウト材をミキサーを使用し攪拌する。 練りあがったグラウト材を打設する。	隙間は狭いのでよく確認し、異物の混入を防ぐ。 グラウト投入後、90～120秒間練り混ぜる。 受枠の充填確認用孔を確認し隙間無くグラウト材を充填する。 作業に合った保護具を使用する。
グレーチング敷設	受枠にグレーチングを設置する。	グラウトの硬化を確認し、グレーチングを敷設する。 ナットを確実に締める。
後片付け	使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。 終礼の実施	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。 安全ミーティング日報による

## 注意事項

作業に合った保護具の使用を行う。  
一般車への飛散防止は確実にを行う。  
攪拌時間等、確実に計測を行う。  
材料の攪拌については、硬化不良が起きない様に、十分、むらなく攪拌する。  
材料の攪拌場所は、路面が汚れない様にシート等で養生をしてから作業をする。  
移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。  
車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。